

道徳科学習指導案

指導者 浅木森 文恵

- 1 日時 平成30年12月18日(火) 第3校時
- 2 学年 6年1組 (31名)
- 3 主題名 意見の違いは、豊かさに B11 相互理解, 寛容
- 4 ねらい 意見の違いはよりよいものが生まれる豊かさにつながることに気づき、謙虚な心で互いを理解し合い、異なる考えや意見を大切にしようとする態度を育てる。
- 5 教材名 「ブランコ乗りとピエロ」(私たちの道徳 小学校5・6年 文部科学省)
- 6 主題設定の理由

〔主題観〕

本主題は、第5学年及び第6学年の内容項目B「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。」をもとに設定したものである。

私たち人間は、自分の立場を守るため、つい他人の失敗や過ちを一方向的に非難したり、自分と異なる意見や立場を受け入れようとしなかったりするなど、自己本位に陥りやすい弱さをもっている。しかし、意見の違いや対立は、人間の考えの多様さから起こるものであり、その多様さを相互に認め合い理解することで、考えの広がりや豊かさにつながっていく。よりよい人間関係を築き、豊かな社会をつくっていくためには、自分とは異なる意見や立場も広い心で受け止めて相手への理解を深めることが不可欠となる。

この時期の児童は、自分のものの見方や考え方について認識が深まることから、相手のものの見方、考え方との違いをそれまで以上に意識するようになる。そして、考えや意見の近い者同士が接近し、そうでない者を遠ざけようとする行動が見られることがある。そのような時期に、相手の意見を素直に聞き、なぜそのような考え方をするのかを、相手の立場に立って考える態度を育てることが大切になってくる。

また、人は自分自身が成長の途上にあり自分を謙虚に見ることができるからこそ、他人に対して寛容になることができる。自分に対して謙虚であり、他人に対して寛容であることは、今後多様な人間が共によりよく生き、創造的で建設的な社会をつくっていくために必要な資質・能力であると考えられる。

〔児童観〕

(略)

〔教材観〕

本教材は、サムの身勝手な振る舞いに腹を立てたピエロが、観客を喜ばせるために必死に頑張るサムの姿に接することで、自分も目立ちたい思いをもっていたこと、観客を喜ばせたいという思いはサムと同じであることに気づき、広い心で謙虚に相手を受け止め、互いに認め合う関係になる話である。自分本位な考えがぶつかり合うことで、口論やけんかの原因につながる内容は、この時期の児童が共感しやすい内容である。

導入では、児童が本時の内容項目について主体的に考えることができるようにするため、意見や考えが自分とは異なっていて困った経験を想起させ、「自分と違う考えの人とお互いに理解し合うことは、なぜ必要なのか」について考えるという課題意識をもたせる。

初めのうちは、サムに対して腹立たしい気持ちを抱きながらも、真摯に演技に向き合うサムの姿や自分自身のことを振り返った結果、サムを受け入れようとするピエロの心情の変化とその理由を考えさせることで、自分と異なる意見や立場を謙虚に受け入れることの大切さに気付かせていきたい。

特に中心発問では、「なぜ、サムを憎む気持ちがピエロから消えたのか」を考えさせ、サムが頑張っていただけでなく、ピエロが、自分自身を深く見つめ、分かり合うことでお互いのよさを伸ばすことになると考えた気持ちの変化に気付かせ、異なる考えや意見を受け入れ、大切にしようとする態度を育てたい。

さらに、中心発問での意見をもとに導入で投げかけた「自分と違う考えの人とお互いに理解し合うことは、なぜ必要なのか」について話し合わせることで、謙虚な心をもつことが相手を広い心で受け止めることにつながることを、広い心で相手の意見を受け止めることで、意見の違いがよりよいものを

生み出していくというよさに気付かせていきたい。

7 準備物 場面絵

8 学習指導過程

段階	学習活動	主な発問と予想される児童の心の動き (○：主な発問, ◎：中心発問)	指導上の留意点 ☆評価の観点
導入	1 自分たちの生活を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意見や考えが自分とは違って困った経験がありますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会やクラブで何かを決めるとき、意見が違って困った。 ○ 意見や考えが自分とは違ったとき、あなたはどのようにしていますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ しっかり話し合う。 ・ そのままにしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活経験を想起させながら、「意見や考えが違う人と理解し合うことがなぜ必要なのか」を考えるという課題意識をもたせる。
	自分と違う考えの人とお互いに理解し合うことは、なぜ必要なのでしょう。		
展開	2 教材「ブランコ乗りとピエロ」を読んで話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ カーテンのすき間からサムを見つめるピエロは、どんな気持ちだったでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 勝手なことをして許せない。 ・ 自分だけ目立って・・・。 ・ 俺も目立ちたいのに。 ◎ どうして、サムを憎む気持ちがピエロの心から消えたのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ サムが一生懸命努力していたから。 ・ サーカス団のために、頑張っていた。 ・ 自分も目立ちたかっと思っていたことに気付いた。 ・ サムのおかげで自分もいい演技ができた。 ・ 自分と違うことが、よりよいものをつくることに気付いた。 ・ 対立するのではなく、お互いに認め合うことが大切だと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ サムに対して、よくない感情をもっているのと同時に、自分も目立ちたいと思っていることを捉えさせる。 ○ サムの努力に関わる意見に偏るようであれば、「その気持ちだけであったのか。」と問い、考えを深める。
	3 ペア・全体で話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 控え室で話す二人は、どんなことを考えていたでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分だけ目立とうという気持ちは捨てよう。 ・ サーカス団のために、共にがんばっていこう。 ・ サーカスをよりよいものにしていきたいという気持ちは同じだった。 ○ お互いに自分と違う考えの人と理解し合うことは、なぜ必要なのでしょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対立しているままだと嫌な気持ちになる。 ・ 相手を理解できると、その人といい関係に 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ペアで話し合わせることで、自分の考えを明確にするとともに広げていく。 ☆ 自分と異なる意見や立場を尊重することの大切さについて、考えを深めているか。

		<p>なる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 違う意見があることで、自分も高めることができる。 ・ 違う意見を聞くことで、よりよいものにしていくことができる。 	
終末	<p>4 今日の学習で気付いたことや学んだことを書く。</p>	<p>○ ハート貯金箱を書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お互いに理解し合うためには、自分のことばかり考えるのではなく、相手の立場に立って考えることが大切。 ・ お互いの考えを話し合い、問題を解決していきたい。 ・ 相手の意見を受け入れることで、よりよいものをつくっていくことができる。 	